

JICA草の根技術協力事業
「ベトナム国キエンザン省における水環境改善のための人材育成プログラム」
平成25年度（1年次）活動報告

○事業の背景○

ベトナム南部、カンボジア国境沿いに位置するキエンザン省でも他のベトナム地域と同じく、急速な経済発展に伴う工場排水や生活排水が増加しています。さらに、それらの排水が十分な処理をされことなく放流され、河川・湖沼の水質悪化などが急激に進んでいることが問題になっています。省内にはベトナム国内有数のリゾート地であるフーコック島があり、毎年のように大型ホテルが建ち、観光客も急速に増加していることから、下水処理場の建設は急務です。このような課題をはじめ様々な水環境改善課題を解決していくためには、キエンザン省が「住民」「事業者」を巻き込んで、環境保全のルールについての理解を共有し推進していくことが必然です。

今回のJICA事業では、キエンザン省と上水道・下水道分野における技術協力・交流に関する覚書を締結しました神戸市の水環境に関する経験と技術を3年にわたってキエンザン省の行政職員やキエンザン省上下水道サービス公社の技術職員（以降、研修員）に学んでもらう予定です。



ベトナム国内で人気観光地・フーコック島のビーチでも、ゴミが目立ち始めています。

○平成25年度の活動○

平成25年度は、ベトナム・キエンザン省にて3回（7、10、2月）、神戸市にて1回（12月）研修を行い、日本が高度成長期に経験した公害事例や、その後展開してきた水環境保全政策ならびに行政の役割、さらに下水道政策を進めるうえでの基本的知識や水環境改善の必要性について講義しました。アンケートを実施したり、現地のゴミ処理施設や開発地区などを日本人専門家と一緒に視察することで、現地での課題を抽出していきました。

神戸市内で実施の研修では、10名の研修員が来日し、約10日間にわたり、神戸市の大・小規模の下水処理場を見学しました。下水処理施設の基礎的な仕組みや資源・エネルギー利用などについて学ぶとともに、施設立地に伴う周辺住民対策などについても理解を深めました。例えば垂水処理場では施設の上部を身近な施設として市民に親しまれるよう公園化し開放していることや太陽光発電のパネルを設置しエネルギー利用をしている事例を紹介しました。



キエンザン省での現地視察



左）垂水処理場・平磯芝生広場の見学。右）太陽光発電パネルの設置場所の見学。

上記4回の研修を経て、水環境改善のための大きな課題として①し尿処理②生活排水③ごみ対策が重要であることが認識されました。平成26年度の研修ではベトナム側とより活発に意見交換をしつつ水環境改善計画の案や住民への啓発資料を検討していくことを計画しています。